

## 「第22回 川崎ものづくりブランド認定製品・技術」を募集します

川崎市、川崎商工会議所などで組織する「川崎ものづくりブランド推進協議会」は、令和7年6月1日（日）から6月30日（月）まで、「第22回 川崎ものづくりブランド認定製品・技術」の募集を行います。

本事業は、市内中小製造業者等が生み出した優れた製品・技術の優位性や潜在能力の高さを国内外にアピールし、製品等の販路拡大、イメージアップ、新市場への進出を支援することを目的として平成16年度から実施しており、現在、103件の製品・技術が認定されています。

### ◆応募対象

既に市場に投入された工業製品・技術等で、川崎市内の事業所において製造又は開発を行っていること（原則1社1件）

### ◆応募資格

- 次のいずれかに適合し、かつ市内で原則1年以上事業を営んでいる中小企業者等
- 市内に本社を有する中小製造業者又は中小情報通信業者
- 本社は市外であっても、市内に開発部門又は製造部門の属する事業所があり、当該事業所において、対象製品・技術の開発又は対象製品の製造を行っている中小製造業者又は中小情報通信業者
- 上記2つのいずれかに該当する者が主たる構成者となって活動している協同組合等の団体、任意グループ

### ◆認定特典

- 川崎ものづくりブランドのロゴマーク使用権利の付与
- PR支援（マスコミ、認定製品・技術動画作成 等）
- 認定製品の紹介冊子への掲載
- 認定製品の販路開拓に向けた伴走型支援 など



第21回認定式では11件の製品を認定しました

### ◆スケジュール

- |      |                      |
|------|----------------------|
| 応募受付 | 令和7年6月1日（日）～6月30日（月） |
| 審査   | 令和7年8月下旬（予定）         |
| 認定式  | 令和7年11月中旬            |



※募集の詳細は『第22回 川崎ものづくりブランド募集要項』を御参照ください。

【問合せ先】 川崎ものづくりブランド推進協議会 事務局  
川崎市経済労働局経営支援部経営支援課 加藤  
電話：044-200-2325  
川崎商工会議所企画広報部 白土  
電話：044-211-4112

## 第22回 川崎ものづくりブランド募集要項

川崎ものづくりブランド推進協議会では、川崎市内の中小事業者が生み出した優れた製品・技術を広く国内外にアピールし、販路拡大、イメージアップ、新市場への進出を支援することを目的に、「川崎ものづくりブランド」の認定事業を実施しております。

第22回を迎える今年度も、「川崎ものづくりブランド」に相応しい製品・技術の募集を行います。皆様のご応募をお待ちしております。

### 1. 対象製品・技術

以下の工業製品・技術等とします。

- (1)既に市場に投入されていること
- (2)市内の事業所において製造又は開発を行っていること
- (3)申請時点において、申請者の製品・技術が当ブランドの認定を受けていないこと（原則1社1件）

### 2. 申請資格

申請者は、以下のいずれかに適合し、かつ市内で1年以上事業を営んでいる者又は下記対象施設等に入居している者としてします。

- (1)市内に本社を有する資本金3億円以下又は従業員300人以下の中小製造業者又は中小情報通信業者（以下「中小事業者」という。）
- (2)本社は市外であっても、市内に開発部門又は製造部門の属する事業所があり、当該事業所において対象製品・技術の開発又は対象製品の製造を行っている中小事業者
- (3)(1)又は(2)に該当する者が主たる構成者となって活動している協同組合等の団体、任意グループ（対象施設等）

かながわサイエンスパーク、かわさき新産業創造センター、テクノハブイノベーション川崎、明治大学地域産学連携研究センター、ナノ医療イノベーションセンター、その他のインキュベーション施設であって、市長が特に認めるもの

### 3. 申請書類

以下の書類を「4. 回答フォーム」からアップロードするか郵送でご提出ください

※郵送の場合、令和7年6月30日までの消印有効

- (1)認定申請書（ホームページからダウンロードしてください。）
- (2)登記事項証明書の写し
- (3)市民税納税証明書の写し
- (4)決算関係書類（直近2期分）
- (5)産業財産権（含む申請書）に関する証明書類の写し
- (6)会社案内及び製品パンフレット
- (7)その他

### 4. 回答フォーム

フォームURL：

<https://logoform.jp/f/MjRPH>



### 5. 費用

審査に係る費用は無料です。ただし、認定申請書の作成等、申請に係る費用については、申請者の負担となります。

なお、登録料は認定の翌年度から年間2万円が必要となります。

### 6. スケジュール

募集期間	令和7年6月1日（日）～6月30日（月）
審査会	令和7年8月下旬（予定）
認定式	令和7年11月中旬

### 7. 認定のポイント

審査・認定については、次の点を総合的に勘案して行います。

- (1)製品力・技術力
  - ・オンリーワン、ナンバーワンの技術である
  - ・他社の製品技術と比較し、優位性が明確である
- (2)市場での評価
  - ・市場における十分な販売実績がある
  - ・外部の調査結果、マスメディアなどによる市場評価が高い
  - ・製品が新たに市場創出につながる可能性がある
  - ・事業の脱炭素化や社会生活への貢献性が高い
- (3)経営理念、営業・マーケティング体制
  - ・企業理念・経営方針が明確である
  - ・製品・技術の市場ニーズを的確に把握している
  - ・製品等の営業・販売・アフターケアの体制が整っている
  - ・新たな市場開拓・販路拡大に向けた分析が明確である
- (4)経営状況
  - ・過去2年間の財務状況が健全である
  - ・収益性につながる主力商品を持っている

### 8. 認定特典

認定製品・技術に対しては、以下の特典があります。

- (1)認定盾・認定証の交付
- (2)川崎ものづくりブランドロゴマーク使用権利の付与
- (3)認定製品の紹介冊子への掲載
- (4)川崎商工会議所及び川崎市産業振興会館内での展示
- (5)川崎ものづくりブランド推進協議会、行政、支援機関などの広報媒体への掲載
- (6)マスコミ、企業等へのPR支援
- (7)認定製品PR動画の作成
- (8)認定製品の販路開拓に向けた伴走型支援

### 9. その他

- (1)認定期間は、認定日から3年経過後の年度末までとなります。その後1年毎の延長が可能ですが、審査があります。
- (2)提出された申請書類等は返却いたしませんのでご了承願います。また、認定審査等に関するお問合せには一切お答えできませんのでご了承ください。
- (3)製品等の安全性が、各種法令に適合しない恐れがあるものについては、審査の対象とならない場合があります。
- (4)8月下旬の審査会では、申請製品等のプレゼンテーションをしていただきます。

## 【主催】川崎ものづくりブランド推進協議会

ホームページ：<https://www.k-monobrand.com>

メールアドレス：[info@k-monobrand.com](mailto:info@k-monobrand.com)

(事務局)

川崎商工会議所 企画広報部

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル3階

TEL：044-211-4112 FAX：044-211-4118

川崎市 経済労働局 経営支援部経営支援課

〒210-8570 川崎市川崎区宮本町1番地 本庁舎9階

TEL：044-200-2324 FAX：044-200-3920

【後援】経済産業省関東経済産業局（予定）、神奈川県



知と技で世界に羽ばたく

川崎ものづくりブランド

# 第 21 回 川崎ものづくりブランド 認定製品・技術 一覧

(企業名五十音順)

## 1 再エネ水素蓄電システム「Hydro-power Hub」

ハイドロ パワー ハブ



【申請会社名】

**株式会社エノア**

〒212-0032 川崎市幸区新川崎 7-7 KBIC119/114 号室

【申請製品・技術の概要】

太陽光発電の余剰電力を活用して水電解装置で水素ガスを生成・貯蔵し、水素燃料電池によって電力をタイムシフトして再利用することができるシステムである。導入実績として陸上養殖場に活用されており、今後は都心部の事業所における再エネ率向上、さらに離島や過疎地域の活性化への寄与が期待される。



## 2 精密同軸コネクタ「KPCシリーズ」

ケーピーシー



【申請会社名】

**株式会社川島製作所**

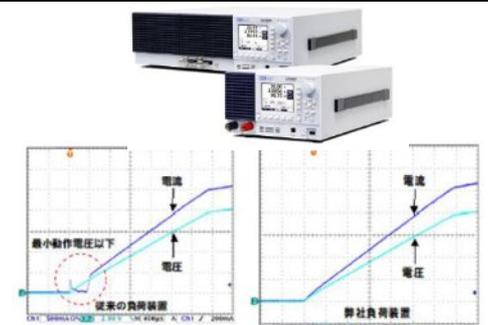
〒214-0031 川崎市多摩区東生田 1-3-5

【申請製品・技術の概要】

IEEE(米国電気電子学会)標準及び IEC(国際電気標準会議)規格に準拠したマイクロ波・ミリ波帯同軸コネクタ。26.5GHz 対応の「3.5mm コネクタ」から、現在は 145GHz まで使用可能な「0.8mm コネクタ」までを取り揃えている。

高精度が要求される精密測定分野での使用は勿論のこと、量子コンピュータ分野における極低温環境(絶対零度付近)という過酷な環境の中でも通信が途切れない安定した性能を持つ。

## 3 「まるで電子抵抗」電子負荷の高速電流応答技術



【申請会社名】

**株式会社計測技術研究所**

〒212-0055 川崎市幸区南加瀬 4-11-1

【申請製品・技術の概要】

従来の抵抗負荷や電子負荷装置の「最小動作電圧以下では電流が流れない」という課題を解決し、独自アナログ回路方式により業界最高速の負荷電流応答で、0Vから電流がリニアに変化する「まるで電子抵抗」を実現。パワーエレクトロニクス分野を支える技術として期待される。

## 4 多機能プラスチックヘラ「<sup>エス</sup>S★スペラー」



【申請会社名】

**有限会社シブヤ**

〒213-0013 川崎市高津区末長 4-17-11

【申請製品・技術の概要】

強度・薄さを維持したまま両刃形状に改良された多機能プラスチックヘラ。従来の用途である自動車のラッピングやステッカー「剥し」に加え、油汚れや泥を「落とす」、窓フィルムやシートを「貼る」といった広範囲な機能を持たせている。

2020年の販売開始以降、OEM製造を加えて6万本以上の販売実績を持つ。

## 5 セルロースナノファイバー完全均一分散・急速乾燥技術



【申請会社名】

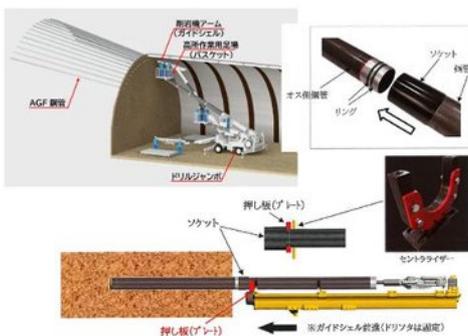
<sup>せいこう</sup>  
**株式会社成光工業**

〒210-0854 川崎市川崎区浅野町 6-7

【申請製品・技術の概要】

植物を原料とするセルロースナノファイバー (CNF) は、“軽くて強い” (鋼鉄の1/5の軽さで5倍の強度) “線膨張率が低い” などの特徴を活かす様々な分野への研究が行われています。成光工業では水だけでなく、樹脂にも完全に均一分散させるとともに、CNFの水分除去にかかる時間を数時間から数分に大幅に短縮したロール乾燥法によって CNF の課題となる製造コストの解決が期待できる。

## 6 エージーエフ AGF プッシュコネク



【申請会社名】

**株式会社トーキンオール**

〒210-0854 川崎市川崎区浅野町 4-11

【申請製品・技術の概要】

トンネルの掘削時に地山に鋼管を打設し、薬剤を注入して固めることで崩落を防ぐ AGF 工法 (注込式長尺先受工法)。

従来であれば鋼管を作業員が手作業でねじ込むように連結していたものをソケット式にしたことで、押し込むだけで連結ができ作業時間の短縮・作業員の負担の軽減が期待される。

## 7 エフエムシー 高品質・低価格・卓上小型券売機「FMC-156V」



【申請会社名】

**株式会社ナガシマ製作所**

〒210-0015 川崎市川崎区南町 20-3 川崎ビル 6階 C号室

【申請製品・技術の概要】

小規模店舗でも設置可能な小型券売機。高額紙幣を含めた現金、クレジットカード、QR、FeliCa など多様な決済方法に対応可能となっており、卓上機には珍しいタッチパネル式。そのため販売製品やメニュー表示のカスタマイズも可能。スペース、価格の面から設置が難しい小型店舗においても導入ができるため、業務効率化や人手不足への対応が期待される。

## 8 鉛レス・カドミウムレス溶融亜鉛めっき加工技術「ピュアZ」



### 【申請会社名】

**日東亜鉛株式会社**

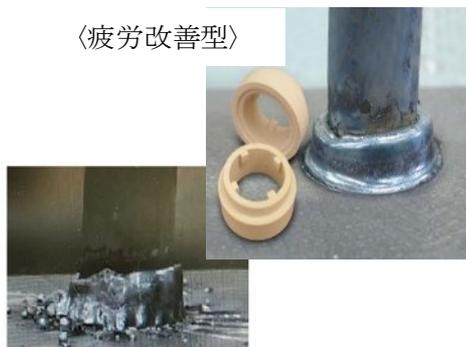
〒210-0866 川崎市川崎区水江町 4-3

### 【申請製品・技術の概要】

従来の蒸留亜鉛<sup>じがね</sup>地金に代わり、電気亜鉛地金を使用した溶融亜鉛めっき加工技術。液切れや浸透性などの課題を薬剤の温度や浸漬時間を調整することで解決し、蒸留亜鉛地金に比べて環境負荷物質である鉛やカドミウムを限りなくゼロに近づけ、RoHS 指令（EU が制定した特定有害物質の含有を規制するもの）をクリアしながら、従来の防食性能を保持した溶融亜鉛めっき加工技術。

## 9 疲労強度改善型フェルール

〈疲労改善型〉



〈従来フェルール〉

### 【申請会社名】

にっぽん

**日本スタッドウェルディング株式会社**

〒212-0058 川崎幸区鹿島田 1-1-2

新川崎ツインタワー西棟 26 階

### 【申請製品・技術の概要】

溶接時に発生するガスがフェルール上部に抜ける構造のため、溶接部のカラー形状が滑らかになり、従来フェルールに比べて溶接部の疲労強度を向上することができ、建築物や橋梁などの長寿命化に寄与。

また、溶接時に発生する金属の粒（スパッタ）を押さえることができ、除去・清掃に時間を要する時間を短縮。作業者の負担軽減が期待される。

## 10 薬品の在庫管理システム・セキュリティキャビネット



### 【申請会社名】

**株式会社マキナエンジニアリング**

〒213-0031 川崎市高津区宇奈根 666-7

### 【申請製品・技術の概要】

薬剤保管に関する事故は約 70%が人的要因。薬剤保管庫の開閉と薬剤の入出庫管理、在庫管理において生体認証センサ、重力センサ、RFID(電子タグ) を連動させることで、セキュリティ強化と省力化を実現したセキュリティキャビネット。

医療現場のほか、大学、企業、薬品メーカ、警察、役所などで、薬剤や貴重品管理に需要が見込まれる。

## 11 石窯 mini



### 【申請会社名】

**株式会社ロビーム**

〒212-0052 川崎市幸区古市場 2-121-15

### 【申請製品・技術の概要】

「石窯 mini」は、世代を超えたコミュニケーションツールとして、どこでもピザ焼き体験ができるポータブルな石窯です。ポータブルな石窯という分野の市販品では数少ない製品です。ロビームは、川崎市古市場の工房で手作業により、ていねいに生産しています。